

科目名	法学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	熊谷 卓		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-110016	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体的問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>人は、この世に生を受けてからその人生を締めくくるまで、「法」と隣り合わせの関係にあります。親から名前を授けられ、学校へ入学、卒業してからの就職、結婚や離婚といった事項についていえば、「法」が密接な関係を有しているということがいえます。本講義では、「法」というものがどのように機能していくのか、このことについて皆さんと勉強していきたいと思ひます。</p> <p>法律って難しそうだと思うかもしれませんが、そんなに心配しないで下さい！丁寧に事例を交えて講義を行います。受けて良かったという講義にしたいと思います。</p> <p>(なお、本講義は、国際学部のディプロマポリシーたる、グローバルな課題に対する批判的な考察眼の滋養、問題の本質を看取できるような国際教養と研究手法の体得を目標とするものである。)</p>				
学修到達目標	法学的思考が習得可能です。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	1 オリエンテーション
第2回	2 法との遭遇-日常生活は「法」であふれている!
第3回	3 法とは何か

第4回	4 刑法とはなにか?-1
第5回	5 刑法とはなにか?-2
第6回	6 刑事責任論-1
第7回	7 刑事責任論-2
第8回	8 刑事責任論-3
第9回	9 犯罪とはなにか?-1
第10回	10 犯罪とはなにか?-2
第11回	11 量刑論-1
第12回	12 量刑論-2
第13回	13 犯罪者処遇論-3

第14回	14 残された問題-民事法も視野に入れて
第15回	15 まとめ
第16回	16 試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	各回のテーマ（アウトライン）について十分に予習（2時間）のこと
【復習】時間・内容	各回のテーマ（アウトライン）について十分に復習（2時間）のこと

成績評価	
評価基準・方法	主として試験による成績評価（試験90パーセント、講義内でのコメントペーパーを通じたレスポンス10パーセント） 試験問題の解答の仕方については、講義中に十分に説明します。
フィードバック方法	また、コメントペーパーによる質疑応答（試験の講評を含め）を通じたフィードバック

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	「六法全書」を指定テキストとします。必ず持ってきて下さい。
受講上の留意点等	プリントを配布することがあります。六法全書を持っていることを受講条件とします。 法律って難しそうと思われるかもしれませんが、そんなに心配しないで下さい。分かりやすく、事例を交えて講義していきたいと思います。どうぞ一度受けてみて下さい。 社会科学の入門的講義となりますので、国際学部の1年次学生の受講を勧めます。
JABEE	